

宍粟市過疎地域持続的発展計画にかかる各指標の実績一覧

過疎計画区分	指標名	単位	基準値 (R2)	実績値		目標値 (R7)	数値の出所（算出方法）
				(R3)	(R4)		
移住・定住・地域間交流の促進、人材育成	空き家バンク制度による登録件数	件/年	42	46	56	60	担当課保有の管理台帳
	【目標値の考え方】平成30年度空き家等実態調査における空き家1,389戸のうち、利活用可能な空き家が704戸であり、令和3年度～令和8年度の6年間で半数以上（360戸）の空き家の登録を目標とする。（360戸÷6年＝60戸）						
	空き家利活用等の相談件数	件/年	45	52	60	100	担当課保有の管理台帳
	【目標値の考え方】宍粟市空き家対策計画において、平成30年度の50件から令和7年度までの7年間で倍増（100件）するとしており、1年当たり7件以上の増加を目標とする。（1年当たり50件÷7＝7件）						
	結婚相談員や結婚相談所を通じた成婚者数	組/年	3	0	2	5	担当課保有の管理台帳
	【目標値の考え方】社会福祉協議会の結婚相談員の紹介等による成婚数実績など、過去の実績数から年5件を目標値とする。						
産業の振興	地域おこし協力隊員の受入人数	人	12	15	17	17	担当課保有の管理台帳
	【目標値の考え方】現状値を基準に1年度につき1人以上の着任をめざす。						
	地域おこし協力隊員の任期終了後の定住率【累計】	%	57.1	62.5	70.0	60以上	担当課保有の管理台帳
【目標値の考え方】国の調査結果（平成28年度末における任期終了後隊員の活動地への定住率→48%、近隣市町も含めた定住率60%）を参考に60%以上を目標とする。							
産業の振興	人工林整備率（間伐事業）	%	33.8	38.2	39.7	42.8	担当課保有の管理資料 11,379ha（R2迄の累計実績）+600ha/年×5年（R3～R7整備計画面積）=14,379ha/33,634ha（直近の人工林全体面積）
	【目標値の考え方】直近の人工林全体面積33,634haに対し、現状600ha/年の累計値となる間伐面積割合（人工林整備率）を目標とする。※年間1.8%の増加						

過疎計画区分	指標名	単位	基準値 (R2)	実績値		目標値 (R7)	数値の出所（算出方法）
				(R3)	(R4)		
産業の振興	認定農業者数	人	32	32	33	42	担当課保有の管理台帳（年度末）
	【目標値の考え方】「人・農地プラン」の推進により地域の中心的担い手の育成に取り組み、新規就農者から1年あたり1人、営農組織の中から1年あたり1人で合計年2人の認定農業者の増加を目標とする。						
	総合的な仕事の相談窓口（宍粟わくわくステーション）を通じた就業者数	人/年	181	189	201	192	総合的な仕事の相談窓口に求職者として登録し、相談窓口のサービスを受けて就職を実現した求職者の数。
	【目標値の考え方】現状維持以上の目標を設定することとし、16人/月とする。（16人×12月＝192人）						
	観光入込客数	千人/年	979 (R1)	834	857	1,165	「兵庫県観光客動態調査」による
	【目標値の考え方】人口減少に伴い観光客が減少する中、第2次総合計画の初年度（H28）実績まで増加させることを目標とする。						
地域における情報化	携帯電話エリア外地域数	地域	1	0	0	0	担当課保有の台帳
	【目標値の考え方】地域情報化に向けて、市に要望が提出されている携帯電話エリア外となっている地域数1地域の解消をめざす。						
交通施設の整備、交通手段の確保	道路（市道）改良率	%	60.6	60.6	60.7	61.1	市道台帳（年度末） （改良済実延長÷総実延長）
	【目標値の考え方】道路網整備は継続していく必要があるが、限りある財源の中で必要な整備を効果的に取り組むことを基本に、1年あたり0.1%の増加を目標とする。						
	路線バス利用者数	人/年	286,163 (R1)	225,865	226,031	263,300	バス事業者からの実績報告による
【目標値の考え方】これまでの伸び幅と今後の人口減少の影響を考慮して、令和元年度（28万6千163人）が上昇のピークと想定し、令和7年度はピークからの減少幅を8%程度に抑えることを目標とする。							
生活環境の整備	下水道接続率	%/年	95.1	95.6	95.6	96.1	下水道使用人口÷処理区域内人口
	【目標値の考え方】最終目標は100%だが、高齢者世帯の増加や低所得世帯などの経済的事情も勘案し、令和7年度の目標値を96.1%とし、令和2年度実績から年間0.2%の増加を目標とする。						

過疎計画区分	指標名	単位	基準値 (R2)	実績値		目標値 (R7)	数値の出所（算出方法）
				(R3)	(R4)		
生活環境の整備	市民1人1日あたりのごみ排出量	g/日	776.7 (R1)	788.2	788.2 (R3)	700以下	(家庭系ごみ+事業系ごみ) ÷ 年間平均の住民基本台帳人口 ※家庭系ごみ=収集ごみ・資源集団回収・店頭回収等
	【目標値の考え方】一般廃棄物処理基本計画に基づき、令和6年度目標である700以下を維持していくことを目標とする。						
	ごみ再資源化率	%/年	25.1 (R1)	24.71	24.71 (R3)	30以上	資源物（ビン類・缶類・ペットボトル・プラ製容器・紙類・布類・焼却灰）排出量 ÷ ごみ総排出量（瓦ブロック等除く）
	【目標値の考え方】一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみ再資源化率（リサイクル率）30%以上を目標とする。						
	公営住宅等長寿命化計画に基づく市営住宅整備率	%	63.6	63.6	64.0	71.5	住宅整備完了戸数/住宅整備計画戸数 ※公営住宅等長寿命化計画（R4～）にて計画した計画戸数
	【目標値の考え方】公営住宅等の戸数に対し、整備済みに加え公営住宅等長寿命化計画（R4～）に計画する整備戸数を目標値とする。						
子どもから高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進	この地域で子育てをしたいと思う親の割合	%/年	96.7	98.2	96.5	現状値より増加	法定の乳幼児健診（乳児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診）の全国統一アンケートの年間集計
	【目標値の考え方】子育て施策の充実により、現状値よりも増加することを目標とする。						
	子育て支援センター利用組数	人/年	499 (R1)	418	513	625	年間子育て支援センターの利用組数
	【目標値の考え方】第2期子ども・子育て支援事業計画による推計値を目標値とする。						
	65歳以上の市民のうち「いきいき百歳体操」に取り組む人の割合	%/年	15.5 (R1)	13.6	12.78	17.5	いきいき百歳体操教室登録者数 ÷ 65歳以上人口
【目標値の考え方】登録者目標2,250人の達成及び体操に取り組む高齢者の割合増加に向け、いきいき百歳体操教室登録者数（2,250人） ÷ 第8期介護保険事業計画における令和7年度推計値・65歳以上人口（12,873人）							

過疎計画区分	指標名	単位	基準値 (R2)	実績値		目標値 (R7)	数値の出所（算出方法）
				(R3)	(R4)		
子どもから高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進	特定健診受診率	%/年	40.6 (R1)	38.0 (R2)	41.2 (R3)	60以上	法定報告値
	【目標値の考え方】国（厚生労働省）が示す目標数値60%以上を目標とする。						
医療の確保	患者紹介率	%/年	54.4	55.4	53.2	55.0	(紹介患者数+救急搬入初診患者数)÷初診患者数
	【目標値の考え方】救急医療及び地域包括ケアシステムにおける入院機能を担う病院として、医療機関との連携を強化し、紹介患者の増加（初診患者の半数）をめざす。						
	患者逆紹介率	%/年	55.6	51.8	53.0	59.0	逆紹介患者数÷初診患者数
	【目標値の考え方】市内唯一の病院として、各医療機関と連携を取りながら、機能を分担し地域完結型医療をめざし、令和7年度までには概ね年1%の向上を目標とする。						
医療の確保	病床利用率	%/年	70.7	62.8	61.1	91.2	年延入院患者数÷年延病床数
	【目標値の考え方】年間延べ53,600人（急性期病棟75%、地域包括ケア病棟90%）の入院患者受入れを目標とする。						
教育の振興	国語及び算数（数学）の授業の内容が分かるという児童生徒の割合	%/年	85.8 (R1)	80.5	81.7 (R3)	現状値を維持	全国学力・学習状況、学習習慣等調査
	【目標値の考え方】現状値は全国平均（79.9）を上回っているため、現状維持を目標値として設定する。						
	しそく学びパスポート所持者数	人	203	211	211	228	担当課保有の管理台帳
	【目標値の考え方】参加者が固定化している現状にあるが、講座内容の工夫など検討を行い、現状値を基準に1年あたり5人の増加を目標とする。						
教育の振興	スポーツ施設利用者数	人/年	152,840 (R1)	83,640	111,416	現状値を維持	担当課保有の管理台帳
	【目標値の考え方】過疎化や少子化などの影響により人口減少傾向にあるが、各種教室や大会を開催することでスポーツ人口の維持を目標とする。						

過疎計画区分	指標名	単位	基準値 (R2)	実績値		目標値 (R7)	数値の出所（算出方法）
				(R3)	(R4)		
集落の整備	地区コミュニティ支援員の受入団体数	団体	2	2	2	5	担当課保有の管理台帳（年度末）
	【目標値の考え方】令和2年度の受入団体が2団体であり、以降2年で1団体程度増やしていく。						
地域文化の振興等	文化芸術施設入場者数	人/年	96,611 (H30)	38,926	58,206	97,100	担当課保有の管理台帳 （山崎文化会館、宍粟市歴史資料館、波賀城史蹟公園、たたらの里学習館、山崎歴史郷土館の入場者数）
	【目標値の考え方】過疎化や少子化などの影響により人口減少傾向にあるが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響がなかった平成30年度実績96,611人を基準に年間で約100人の増加を目標とする。						
再生可能エネルギーの利活用の推進	再生可能エネルギー自給率	%/年	82.2 (H29)	96.3 (H30)	91.6 (R1)	92.1 (R4)	担当課保有の管理台帳 再生可能エネルギー供給率/市域のエネルギー需要(産業・運輸を除く)
	【目標値の考え方】環境基本計画に基づき自給率向上に取り組む。						
その他地域の持続的発展に関し必要な事項	審議会・委員会などの女性委員の割合	%/年	31.4	30.9	27.7	38.4	担当課保有の管理台帳
	【目標値の考え方】本市における推進状況や、県内類似団体等の目標値を参考に設定。						
	公共施設における延べ床面積削減率 (公共施設の売却や譲渡などによる有効活用を含む)	%	1.5	0.9	0.9	6.2	担当課保有の財産管理台帳 (H28と比較した延床面積削減率)
【目標値の考え方】現在の施設を維持する場合、平成28年度から40年間で更新等費用が約336億円不足する試算となり、延床面積に置き換えると40年間で24.5%削減が必要。令和7年度までの10年間で24.5%の1/4にあたる6.2%を削減目標とする。							